

実施期間：2024年1月7日～2024年1月27日 回収率：100パーセント 方法：Google Formでの回答
回収：6/6枚 回収率：100パーセント 1月現在在籍しているパートタイムを含む全職員が回答

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		一気に10人来たら狭く感じるかもしれない。利用者が集中しないよう調整している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		配置人数は問題なし。ただ、有給がすぐとれる状況ではなく職員間の相談が必須となっている。あと一人職員がいると安定。広い角度から生徒の様子を見れる点が工夫されている。常に余裕を持ってシフトを組んでいる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		トイレにスロープはあるが活用されているかは不明。個人の特性によって座る椅子を変えることもある。今の利用者にはいないが、今後車椅子などの利用者がいた場合ビルの2階には行き辛いと感じる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			作成した支援計画に基づいた、毎日の開所前のミーティングとフィードバックを入念にしている。毎回職員で支援のフィードバックをしている。毎日フィードバックを行い、職員間で意見を共有し合っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			保護者や関係者の意見を取り入れる場面が多く見られる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2		職員会議で検討後、ホームページとHUGで保護者に周知している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5		私が知らないだけかもしれない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			専門性の向上や緊急事態時の対応など幅広く実施できている。研修の機会が多く、学ぶことがたくさんある。
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4		ローゼンバーグ評価尺度を行った。また、必要に応じてVineland IIを行った。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		それぞれの利用者にあった活動内容を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		

切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		私だけかも知れないが、今の所「集団」で行動している機会に出会ったことが無い為判断ができない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			客観的にわかる書き方で記録している。カメラのモニターもある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		
	22	(医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合)子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	現在、医療的ケアが必要な利用者はいない。今のところはないが、あれば整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	1	いれば行すが今年度はその年齢層の利用者がいなかった。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			ハッカソンや施設見学を通して、フィットの外で交流を実施できている。会社全体としてイベントがある。他の塾に通っている子供達と交流する機会を作っている。フィット以外のミラプロに通う生徒と共にイベントを行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		これから行う。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			悩み相談は職員全員で共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	1	少数ではあるが親子で行うイベントを開いたり、保護者で集まることができる企画を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			今年度は苦情はなかった。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5	1		会社全体で個人の話をするときは守秘義務などの兼ね合いを考えつつ話をしている。他にはなるべく家などで会社で使っているサイト(hugなど)は利用しないようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	2	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	6			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			